

# 腹膜播種を有する胃癌患者の予後を検証するための後ろ向きコホート研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2025年8月1日)～2026年12月31日

## 〔研究課題〕

腹膜播種を有する胃癌患者の予後を検証するための後ろ向きコホート研究

## 〔研究目的〕

腹膜播種を有するステージIV胃癌は、免疫チェックポイント阻害薬の導入とともに生存期間が改善される傾向にありますが、依然予後不良です。腹腔内化学療法は、一定の効果が認められていますが、保険未収載で、播種に対する有効な治療法が確立されていないのが現状です。

今回の研究は、腹膜播種を有する胃癌患者さんについての治療状況を検証することが目的です。

## 〔研究意義〕

治りにくいと言われている腹膜播種について今後どのように対処すべきか、ということを考える必要があります。

## 〔対象・研究方法〕

腹膜播種を有する胃癌と診断された患者さんの臨床情報(2023年6月から2025年5月末まで:胃癌についての臨床情報、化学療法の内容、予後情報等)を電子カルテから登録します。

胃癌腹膜播種で、3種類の化学療法を施行された患者さんが対象です。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部外科学講座

## 〔個人情報の取り扱い〕

患者さんの臨床情報を取り扱う場合は、個人が直ちに判別できる情報(お名前や住所など)は使わず、患者さんとは関係のない番号をつけて、個人情報の取扱いに注意いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 深川剛生 職名 帝京大学医学部外科学講座主任教授  
TEL: 03-3964-1211 (代表)